

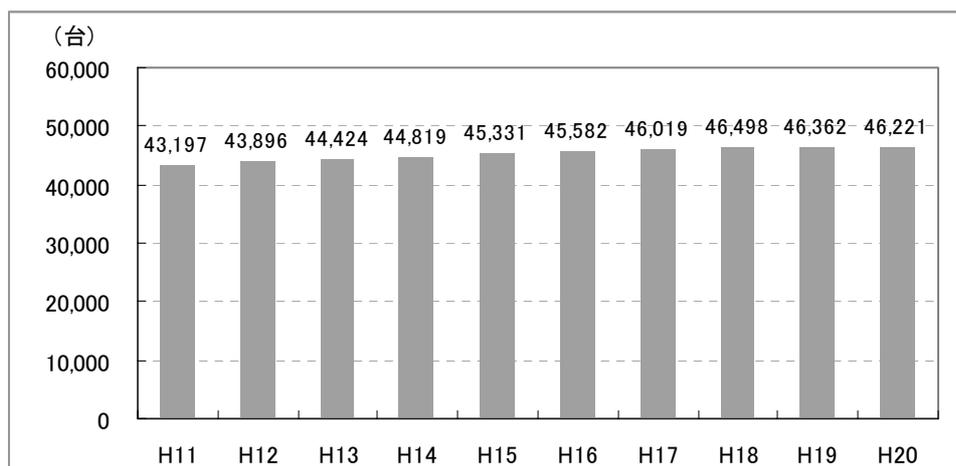
3 道路交通の概況

3-1 道路交通の概況

(1) 自動車保有台数の推移

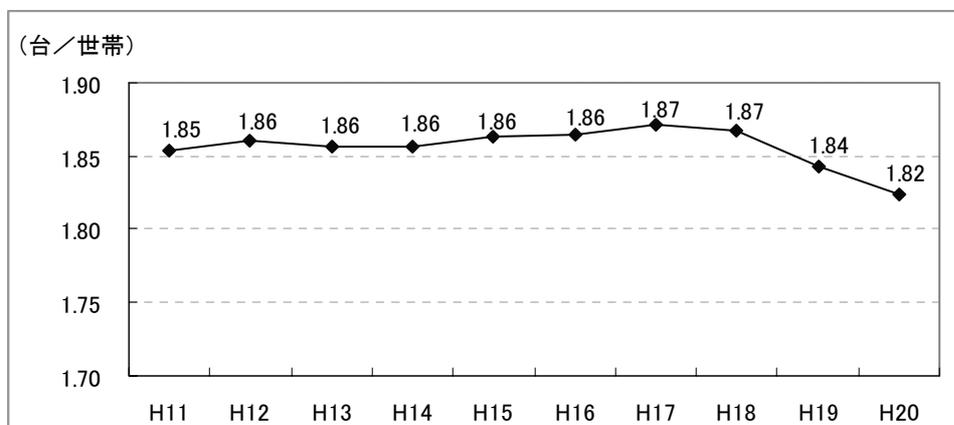
鳴門市の自動車保有台数をみると、平成 18 年まで増加傾向が続いてきたが、以降、減少しており、平成 20 年で約 46,200 台となっている。

1 世帯当たりの保有台数についても、平成 18 年までほぼ横ばいの推移であったが、以降、減少傾向にあり、平成 20 年で 1.82 台/世帯となっている。



資料：鳴門市統計年報（H21）

図一 自動車保有台数の推移



資料：鳴門市統計年報（H21）、住民基本台帳

図一 1世帯当たりの自動車保有台数

(2) 道路ネットワーク

鳴門市の道路ネットワークは、徳島市中心市街地から鳴門市中心市街地に延びる国道 11 号及び国道 28 号により南北の主軸が構成され、このうち国道 11 号により、鳴門市中心市街地と市域北側の沿岸地域とが結ばれている。また、JR 線沿線の地域においては、主要地方道鳴門池田線を東西軸として、これに直交する主要地方道、県道により、道路網が構成される。

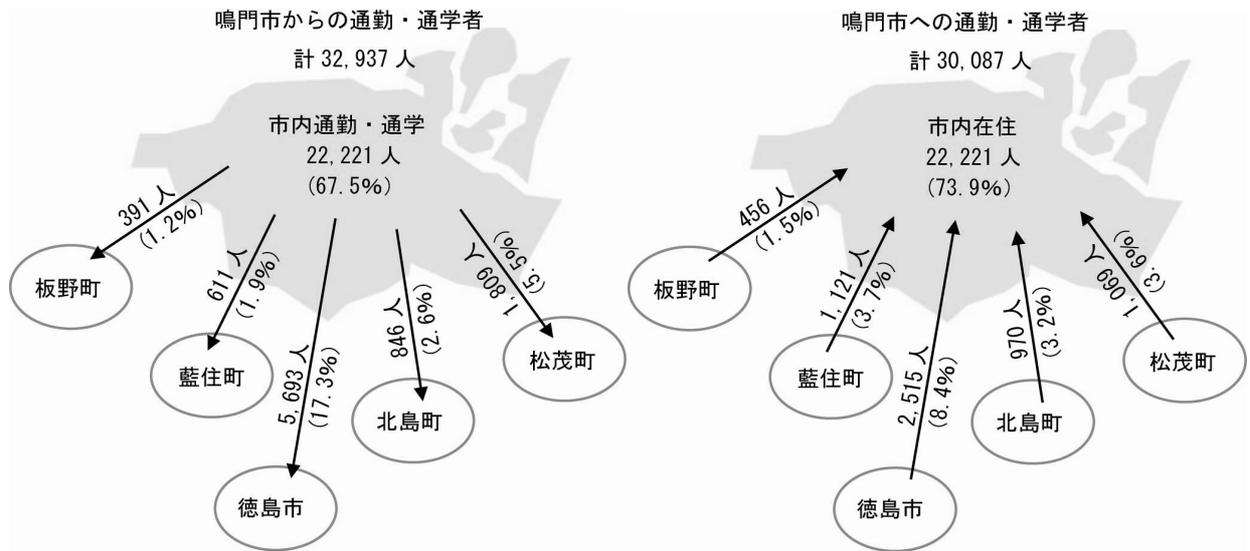
高速道路は、神戸淡路鳴門自動車道と高松自動車道が市域を東西に貫き、鳴門北インターチェンジと鳴門インターチェンジにより、市内道路網と接続している。

3-2 通勤通学流動

(1) 流動状況

鳴門市の平成 17 年の通勤通学流動をみると、鳴門市在住者の約 68%が市内へ通勤通学し、また、鳴門市への通勤通学者の約 74%が市内在住者となっている。

市外との流動では、徳島市を中心とする周辺市町村との流動が大部分を占め、特に松茂町、北島町、藍住町など、市城南側の市町との流動が多くなっており、これら周辺市町村との流動の一部を、JR 鳴門線、徳島バスが担っているものと考えられる。



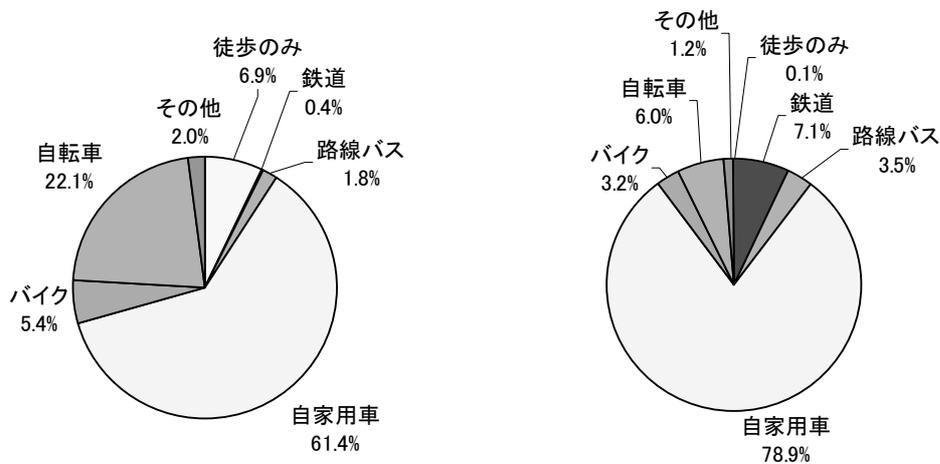
資料：国勢調査 (H17)

図一 通勤通学流動

(2) 移動交通手段

鳴門市からの通勤・通学の移動交通手段をみると、自家用車の利用が市内約 61%、市外約 80%と最も多く、特に市外への通勤・通学において自家用車への依存度が高くなっている。

公共交通利用者の割合は、市内で路線バス約 2%、市外で鉄道約 7%、路線バス約 4%となっており、市外への通勤・通学の足として利用されるケースが多くなっている。



資料：国勢調査 (H12)

図一 通勤通学の移動交通手段